

陳情第23号

OTC類似薬の保険適用除外の中止を求める国への意見書を求める陳情書

令和7年11月6日付けで受理した別紙の陳情書を、議会運営委員会の決定により配付する。

令和7年11月28日 配付

京丹後市議会議長 中野勝友

京丹後市議会
議長 中野勝友 様



OTC 類似薬の保険適用除外の中止を求める国への意見書を求める陳情書

陳情趣旨

自由民主党・日本維新の会は、連立政権合意書において、「OTC 類似薬」を含む薬剤自己負担の見直しを明記しています。この「OTC 類似薬の保険適用除外」について、多くの患者・家族、医療関係者から反対の声があがっています。

そして、患者・家族からは、「大切な薬が今後、保険適用から除外され、これまでと同じように使えなくなるかもしれません」「薬代を支払えないために病気が悪化したり、命に影響したりするような事態になるのでは」との不安が寄せられています。OTC類似薬の対象とされる薬を使用している「魚鱗癬（ぎょりんせん）」の患者・家族が呼びかけたネット署名は、すでに10万筆を超えています。

自民党・公明党・日本維新の会の三党協議で、日本維新の会が保険給付から除外すべきとされたOTC類似薬（保険薬）には、日常診療で処方される薬が多く含まれています。除外されれば、患者の外来受診控え、負担増とともに、医療の安全を脅かすものとなります。特に生活保護（医療扶助）、指定難病はじめ、国の公費負担医療制度や府内自治体で実施されている子育て支援医療などの福祉医療も助成対象外となり、命に関わる事態ともなりかねません。

陳情項目

国に対し、OTC類似薬の保険適用除外の中止を求める意見書を提出すること。

2025年11月6日

京都市中京区

京都社会保障推進協議会

議長 渡邊賢治